

バチエンガ - レナ間道路整備計画【カメルーン】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	カメルーン共和国
(2) 案件名	バチエンガ - レナ間道路整備計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	カメルーン共和国中央州バチエンガ - レナ間の幹線道路等整備、周辺地域のコミュニティ開発、都市開発及び運輸セクターの政策策定・組織強化等を支援することにより、カメルーン国内の効率的輸送ルートの確保及び輸送能力の増強並びに地域開発を図り、もって国内南北格差の是正、並びに中部アフリカ経済通貨共同体 (CEMAC) 内陸諸国の域内経済活性化及び平和と安定に寄与するもの。 事業内容 ・バチエンガ - レナ間 (248.5km) における幹線道路等舗装整備 (全4区間) ・コミュニティ開発支援 ・都市開発支援 ・運輸セクター支援 ・プロジェクト・マネジメント このうち、JICA は、AfDB との協調融資 (ジョイント型) でマンキン - ヨコ区間 (82.1km) の幹線道路等舗装整備を支援。 ア 閣議決定日 : 平成 27 年 3 月 24 日 イ 供与限度額 : 62.64 億円 ウ 金利 : 0.30% エ 償還 (据置) 期間 : 40 年 (10 年) オ 調達条件 : 一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、カメルーンの幹線道路 (南北軸) は、西部州の州都から国土の西端及び東部州の州都から国土の東端が主に整備・活用され、中央州の道路 (中心軸) は未舗装であった。そのため、同国の港や首都から

	チャドや中央アフリカなどの内陸国へアクセスするためには大きく東西に迂回する必要がある、サブサハラ・アフリカ域内で最も運輸交通コストが高い経路の一つとされていた（2014年）。このことが、これら内陸国の経済発展と地域の安定の障害となり、また国内南北格差を生み出す要因の一つにもなっていた。 現在においても上記の状況は続いており、また同軸線上において他ドナーによる南北の配電網の相互接続及びチャドとの地域間接続計画等、内陸国との連携や南北格差を是正する支援も計画されていることから、本事業は、これら新規開発計画の基盤となる支援でもあるため、引き続き必要性は高い。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 当初契約した建設業者の資機材調達の遅延により大幅な工事進捗の遅れが生じた。また、右遅延を受け2019年7月から同建設業者の施工区間の短縮に関する協議が開始され、2021年3月に同施工区間を62kmにするとともに、残る20kmをAfDBの融資及びカメルーン政府の自己資金に振り替えることが関係者間で合意された。しかし、同62km区間の建設業者が財務的な問題で施行を停止し、2021年10月に契約解除された。 2022年11月、別の建設業者と契約し、2025年4月に完工。
（2）今後の対応方針	工事は2025年4月に完工済みであり、貸付実行期限（2025年12月23日）内に貸付完了予定。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料